

洗心荘通信

平成22年1月27日発行

洗心荘 広報委員会

0266-28-6537



いよいよ平成22年の幕開けです。

大晦日は“忘年会”ということで紅白歌合戦を見たり、年越しそばを召し上がっていただきながら夜遅くまで思い思いに過ごして頂きました。大晦日には雪が降りましたが、元旦には初日の出が拝め、嬉しい気持ちで新しい年を迎えることができました。

新年は毎年恒例となりましたが、朝はゆっくりと過ごして頂き、御屠蘇で新年の挨拶をしました。元旦の日中は書初めをしたり、かるた取り等お正月ならではの遊びを楽しみました。

謹賀新年

新しい年を迎え
よい年にめぐり
合えるよう
よい年むかえませう
よい年であります様
祈りませう





蕎麦うち会

12月8日に日清医療食品のスタッフの方が年末手打ち蕎麦をうって下さり、お昼にご馳走になりました・・・。
 昨年、秋に収穫されたばかりの上高地産新蕎麦粉で作りました。八割蕎麦で、風味もよくおいしく頂きました。
 「細く長く・・・」なんて言いながらほおばる姿が見られました。



今度は、切り干し大根や野沢菜がたくさん入ったおやきを
 つくりましょうかね・・・！



お鍋会

3丁目では、12月寒さが深まるころ、鍋会を行いました。具材を切り、鍋でコトコト・・・しばらくすると湯気と一緒においしそうな匂いが香ってきました。ほかほかの鍋を皆さんで召しあがっていただき「あったまるねえ～。」「薄味でおいしいわ」など嬉しい感想をいただきました。みなさん身体も心もほかほかで楽しいひとときが過ごせたようです。



クリスマス コンサート



12月11日 リトモ音楽教室を開かれています小泉涼子先生が来荘されクリスマスコンサートをしました。利用者の皆さんに素敵な音楽をプレゼントして下さいました。入所している利用者様とエレクトーンとオカリナで、“ふるさと、もみじ、赤とんぼ”を合奏して下さいました。また、ディズニーメドレーや眠れる森の美女、美空ひばりメドレー、ねこふんじやったのロックンロールバージョン、などなど盛りだくさんのコンサートとなりました。利用者のみなさんはうっとり聞き入ってしまいました。心がとても暖まりました。



ユニットケアについて 学習会をしました。



講師は白鳥副主任が！



私が洗心荘に入社し早5年が経ちました。昨年9月にユニットリーダーの研修に行かせていただきました。ユニットケアとは利用者様1人1人の生活を尊重し個別ケアを確立できるというものであり、洗心荘で働く全職員の気持ちをひとつにすることが重要だと学んできました。洗心荘では移転を機に5年前からユニットケアに取り組んできましたが具体的手法とケアの情報交換の統一不足で浸透せず、今年度再構築といった意気込みで取り組みを始めました。利用者様の望む生活スタイルを実現できるよう日々悪戦苦闘している毎日です。そこでユニットケアを実践していくにはどうすればいいのか、全職員（介護・看護職員、相談員、ケアマネージャー、栄養士）が参加しての勉強会を昨年10月から2カ月に1度、実施しています。最初の勉強会から4カ月が過ぎ、少しずつ職員の意識が変わってきたように感じています。勉強会を通じて洗心荘独自のユニットケアを確立できるようにしていきたいと思えます。

2丁目Bチーム介護主任 白鳥陽平



1・2丁目では、利用者様主体で居酒屋会を企画しました。
おつまみやお酒を用意して一杯飲みました。
年おさめという事でテレビを見ながら演歌を聴き、語らいながらいつもの夜とは違った時間を過ごして戴きました。
見てください!!この満面の笑みを・・・
おやつの牛乳は遠慮がちですが、「おかわり、もうちょっと飲
みてえなあ〜」といいながら話もはずみました!
飲んでいる姿はまだまだ現役です。



やっぱり
酒はいいなあ



ぷはっ!



うまいなあ!



乾杯!!



最高!!

